

小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究
—登録・管理ソフトの現状と課題—

分担研究者 齊藤進（日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部主任研究員）

【要旨】「小児慢性特定疾患の登録・管理システム Ver. 4」を開発配布し、精度の高いデータの収集をするために、動作試験を実施、使用上の問題点と今後の開発サポートのあり方を検討した。その結果、安定した稼働のために「Visual Basic .Net 2005」を使用して再構築すること。あわせてインターネットを利用した登録管理システムの開発をすすめることが必要である。

【キーワード】 小児慢性疾患、登録管理システム、小児慢性疾患ソフト

研究協力者

加藤忠明（国立成育医療センター 成育政策科学研究部長）

藤田正則（株式会社NID ユーザーサポート1課）

陶山 泰（有限会社スクウ代表取締役）

小山 修（日本子ども家庭総合研究所 研究企画・情報部長）

A. 研究目的

平成 18 年度から新しい「小児慢性特定疾患の登録・管理システム Ver. 4」（以下、小慢ソフト V4）を開発配布し、精度の高いデータの収集をするために、使用上の問題点と今後の開発サポートのあり方を明らかにする。

B. 研究方法

小慢ソフト V4 の動作試験は、特に Ver3.0 において、PC 固有の動作やシステム的な問題が多数報告された富士通製パソコンを準備して実施した。富士通 FMV DeskTower CE50-U7（Pentium4 3.0Ghz Memory 1.0GB）、オペレーティング・システムは Windows Vista Home Premium (32bit Version) を使用し、システム全機能の動作検証を行った。

C. 結果および考察

1. 小慢ソフト V4 の Windows Vista での動作試験

動作検証の結果、次の 3 点についての問題が明らかとなった。

①「.Net Framework」に関する問題点

小慢システムを動作する上で必要な「.Net Framework」は Ver1.1 で、Windows Xp などでは「.Net Framework Ver1.1」がサービスパックにより標準でインストールされている。しかし、Windows Vista では Ver2.0 および最新の 3.0 のみを標準装備している。このため小慢システムを Vista で利用する場合には、必ずインストールキット添付の「.Net Framework Ver1.1」をインストールする必要がある。

②各システム起動時に関する問題点

登録管理および集計システムを起動すると「バンドルエラー」が発生し処理続行が不能となる。しかし Windows Vista では「WindowsXP SP2 互換モード」が用意されており、各アプリケーションをこの動作モードに設定変更することでは回避は可能であった。

③Windows セキュリティに関する問題点

登録管理システムのデータ出力やメンテナンス画面において、毎回処理を行う度に「セキュリ

ティ・ポリシー エラー」と言う警告メッセージが表示されるが、この場合「続行」ボタンにより処理の継続が可能である。これは、Windows Vista のセキュリティ管理が強固になったための弊害が原因である。

これらの問題点は、地方自治体においては混乱を招く症状であるので、開発環境を現在の「Visual Basic .Net 2003」から最新の 2005 へ移行・再構築することで緩和・回避できると推察される。

2. 今後の小慢ソフトの開発について

昨年度報告した KNOPPIX 版をベースに、インターネット環境で登録管理を行うシステムを構築することが有効と考えられる。データおよびプログラムをサーバに置き、ネットワークで結ばれたパソコンのブラウザを使用して入力するシステムである。インターネット等のネットワークを利用するため、暗号化通信を用いること、入力作業へ入るときのセキュリティ（ユーザ認証、ID とパスワード）等が必須であること。また、データをサーバにおくことになり、サーバの管理が重要であるが、セキュリティシステムの向上が期待できるため、実用化が可能と思われる。

D. 結論

小慢ソフト V4 の Windows Vista での運用は、「Visual Basic .Net 2005」を使用して再構築する方が安定した稼働を担保できる。また、平行してインターネットを利用した登録管理システムの開発時期にきている。柔軟で多様なシステム構築が必要であろう。

【参考文献】

1. 斉藤進、加藤忠明、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの改訂、厚生労働省厚生科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 13 年度研究報告書：233～234、2002
2. 斉藤進、加藤忠明、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの改訂について、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 14 年度研究報告書：192～193、2003
3. 斉藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発について、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関する研究」平成 15 年度研究報告書：148～151、2004
4. 斉藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発方針と利用実態、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 16 年度研究報告書：134～148、2005
5. 斉藤進、加藤忠明、陶山泰、藤田正則：小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの開発、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 17 年度研究報告書：142～144、2006
6. 斉藤進、加藤忠明、藤田正則、陶山泰、小山修：小児慢性特定疾患登録管理用システムの課題、厚生労働省厚生労働科学研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究」平成 18 年度研究報告書：215～219、2007